三田空襲を忘れない

マンガ版

原作（台本）あらや新
SUNPEACE

三田空襲を忘れない

マンガ版

原作（台本）あらや新

SUNPEACE

この漫画は、あらや新さん作の劇『三田空襲を忘れない』（台本）をもとにしたフィクションです。

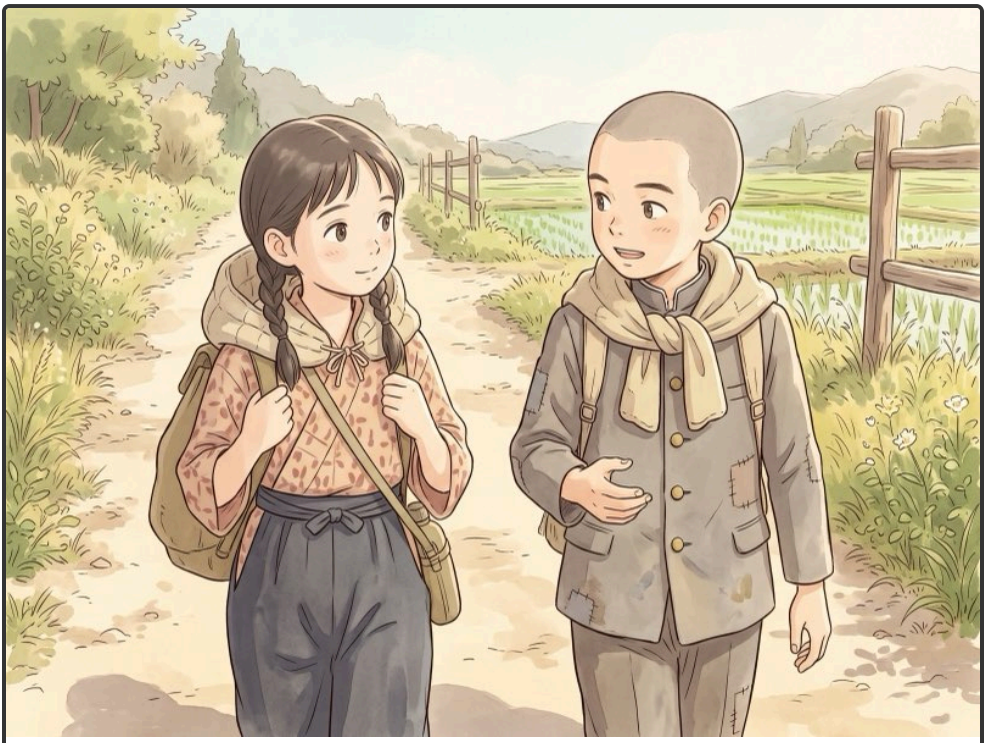
原作（台本）：あらや新　『三田空襲を忘れない』

プロローグ

1945年

1945年7月19日。

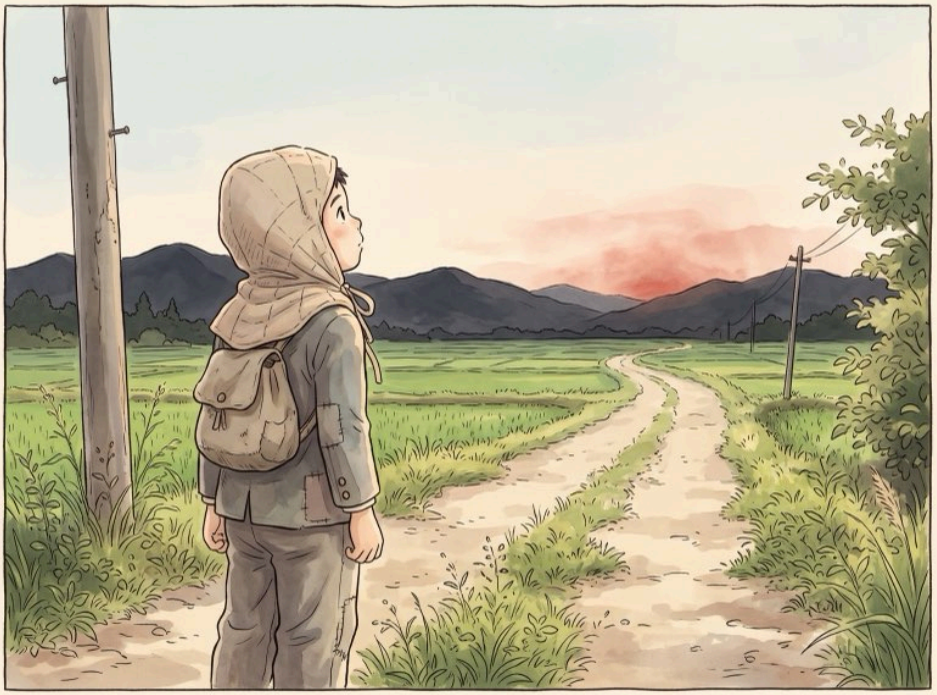
子ども
最近、空襲警報多いなあ。



子ども
そういやおまえんの所に来てた子、最近見いひんけどどないしたん？

子ども
縁故疎開してきた子？　あの子は親がおらへんのが寂しくなって、神戸の方に帰ったで。

子ども
神戸かあ。空襲の日は真っ赤やもんなあ。



男の子は列を抜け、神戸の方を見つめる。

上級生
こら！　列を乱すな！

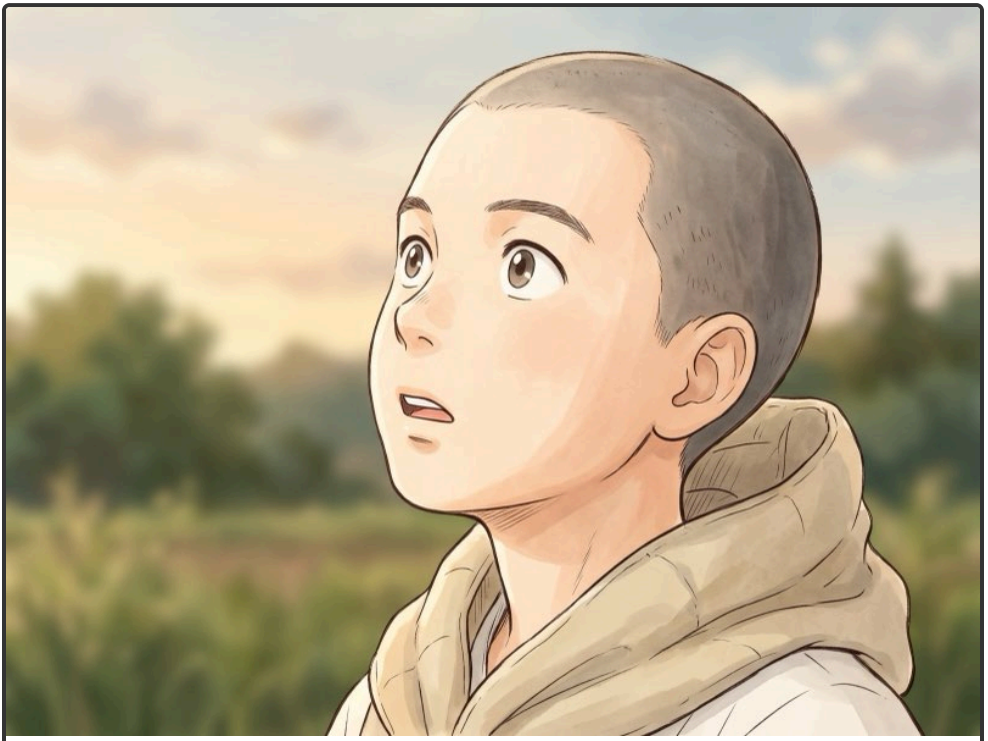
男の子
ごめん！

子ども
なんか聞こえへん？

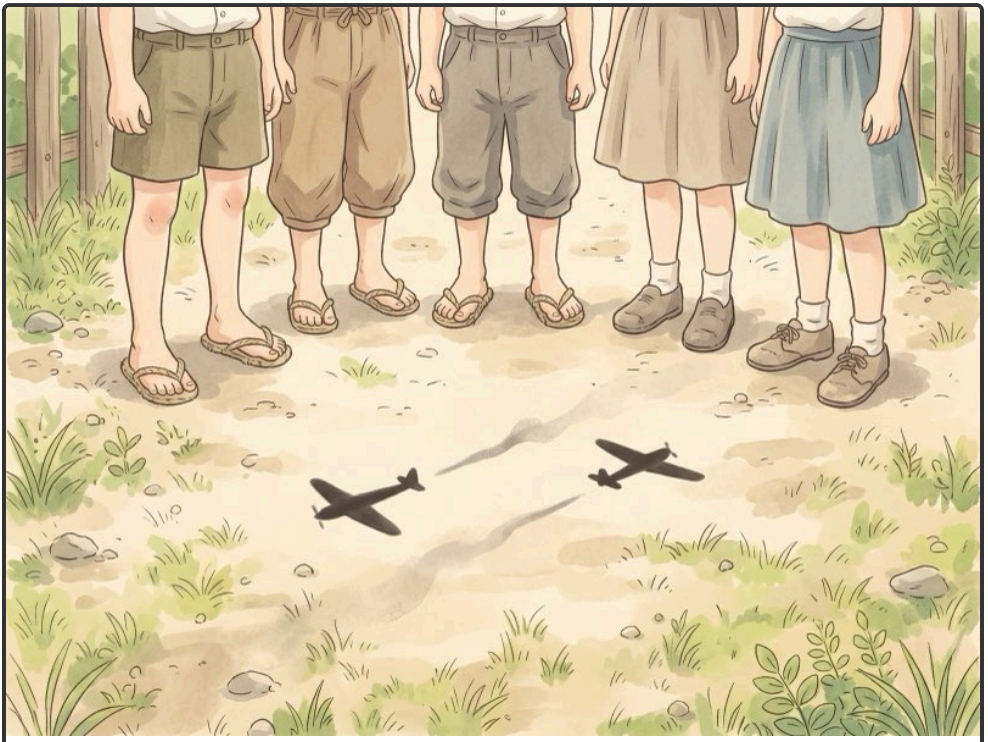
上級生
飛行機？

子ども
空襲？

上級生
そんなわけないやん。警報は解除されてるんやで。



飛行機の音が、どんどん近づいてくる。



ゴオオオ…

上級生
全員伏せろ！！

二列に並んだ子どもたちは、とっさに伏せた。用水路に飛び込んだ子もいた。

もうだめだ！　と思った瞬間、音も光も、何もかもがなくなる。

暗転

♪ 歌「PEACE」（歌の紹介はこちら）

第1章

図書室の本（現在）

現在。セミの声がひびく、夏の昼の学校。

来週の『戦後80年』平和学習。準備は難航している。

和花

暑っつう。平和学習ってアバウトすぎるわあ。わたし平成生まれやで。

和花
ふう…。

和花
なんか伝えられたらええんやけど。

和花
なにこれ『知識は経験に能わず』…今いちばんグサッてくるタイトルやわ。
和花
経験するのが一番の学びなんやけど、到底無理な話やからなあ。
ギシッ…
和花
学校もかなり年季が入ってるなあ。

ガタッ！
本棚の上から、一冊の本が落ちてくる。

和花
あっぶな！　なんなんこれ。蔵書？

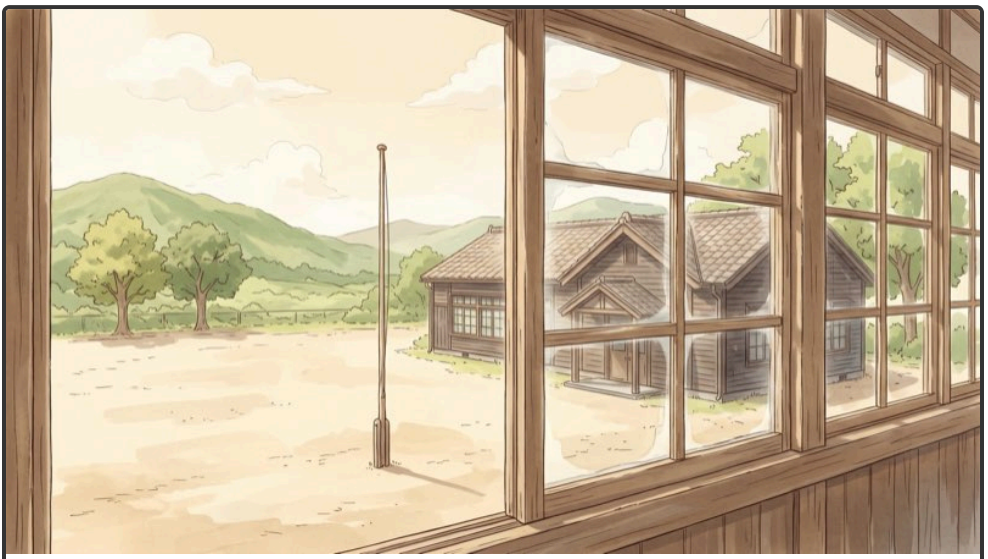
和花
めっちゃ埃被ってる。

和花
『三田、空襲？』…手書きやん！　なんでこんな本が、学校に？

一九四五年七月十九日午前十一時二十分ごろ、三田市上空に米国軍艦載機『グラマン』が二機、来襲。四戸の農家全焼、五人の犠牲者を出す空襲となった。

ページをめくるたびに光が増していく。本当に戦闘機の音が聞こえる。
キィィィン

和花
なんやったんや、今の光は…。



窓の外には、見慣れない古い校舎。

和花

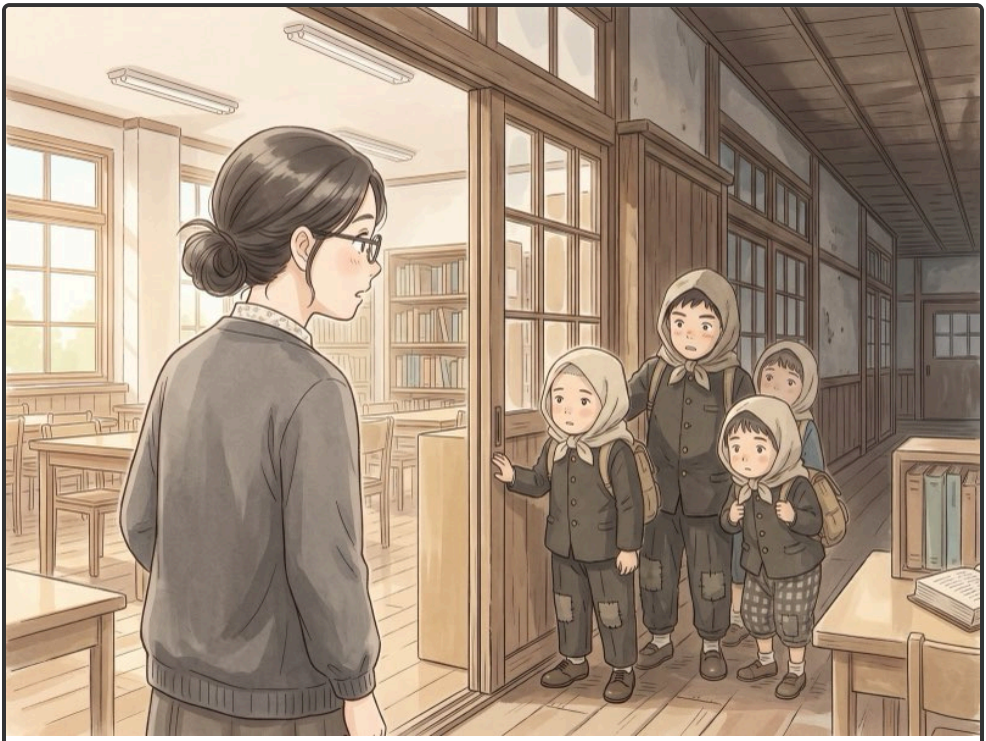
疲れてるんかなあ。こんなに暑い日に図書室に籠ってるから、熱中症にでもなりかけとるんかなあ。

第2章

1945年の学校

1945年7月19日。終業式の日。

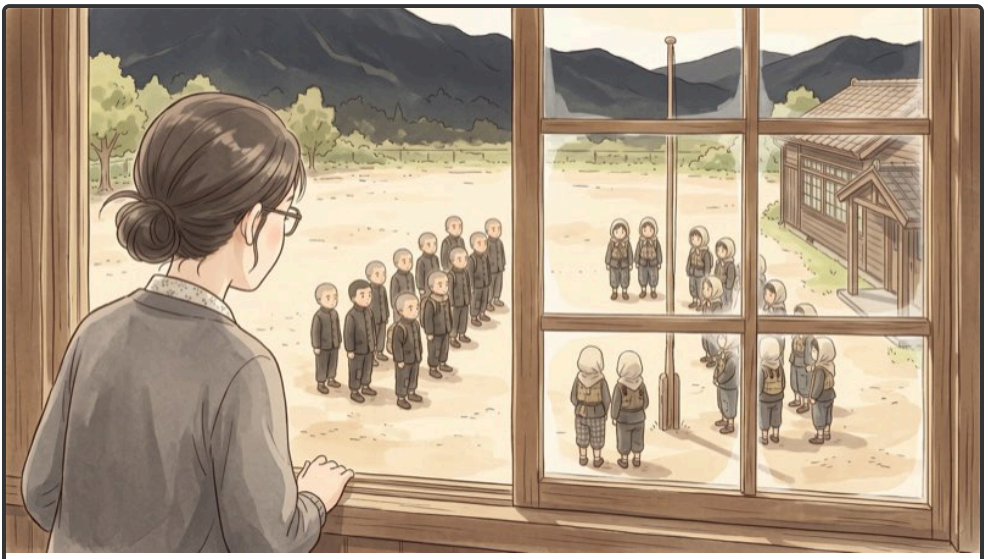
和花
あれ、なんだか校舎が新しい気がする…。



和花
こら！　廊下は走っちゃいけません！　今日は終業式で終わりですよ！　早く集団下校の準備をしなさい！

子どもたち
はーい！

上級生
え？　だれ？
子ども
この学校の先生？
子ども
知らん、知らん。



窓の外の校庭には、男女に分かれた子どもたち。みんな防空頭巾に冬服。

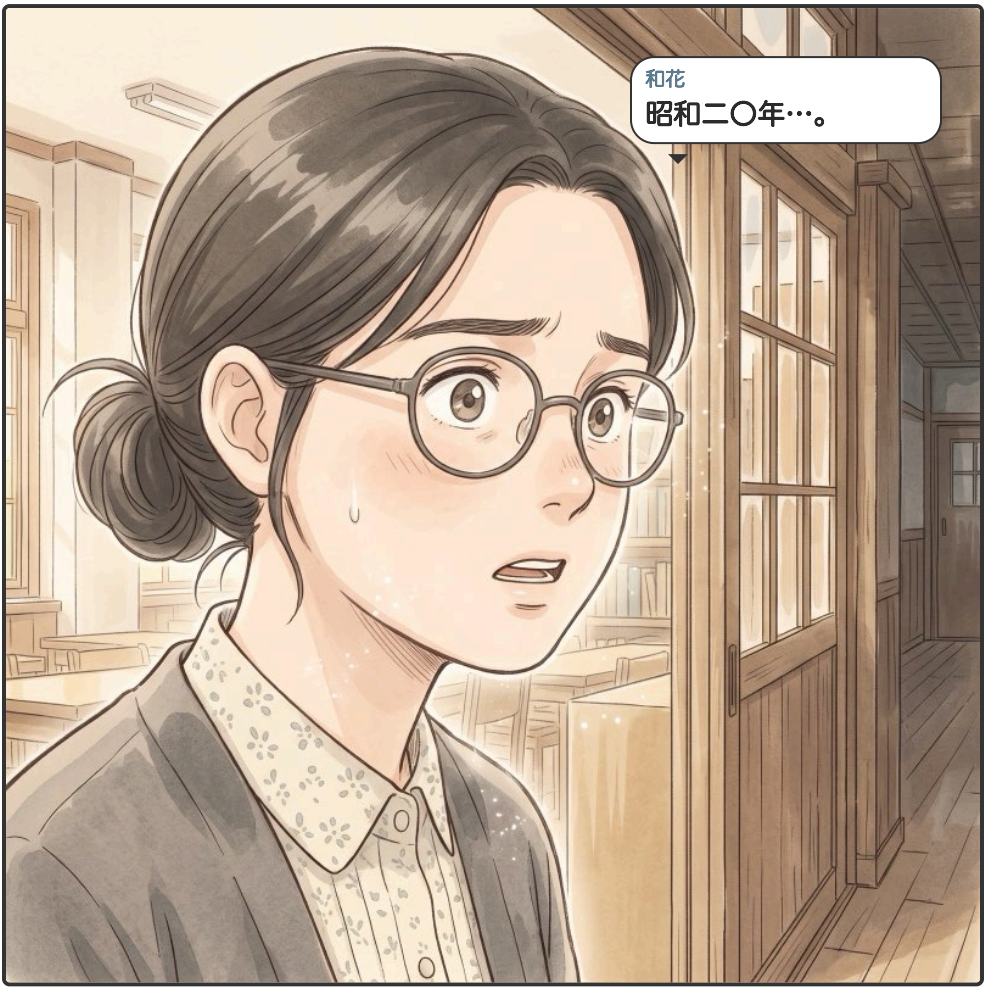
和花
校庭が狭い…。

和花
君たち、ちょっと質問に答えて！　今日って何月何日？

子ども
七月の十九日やん。終業式やで。

和花
何年の！

子ども
一九四五年。昭和二〇年や。


和花
昭和二〇年…。

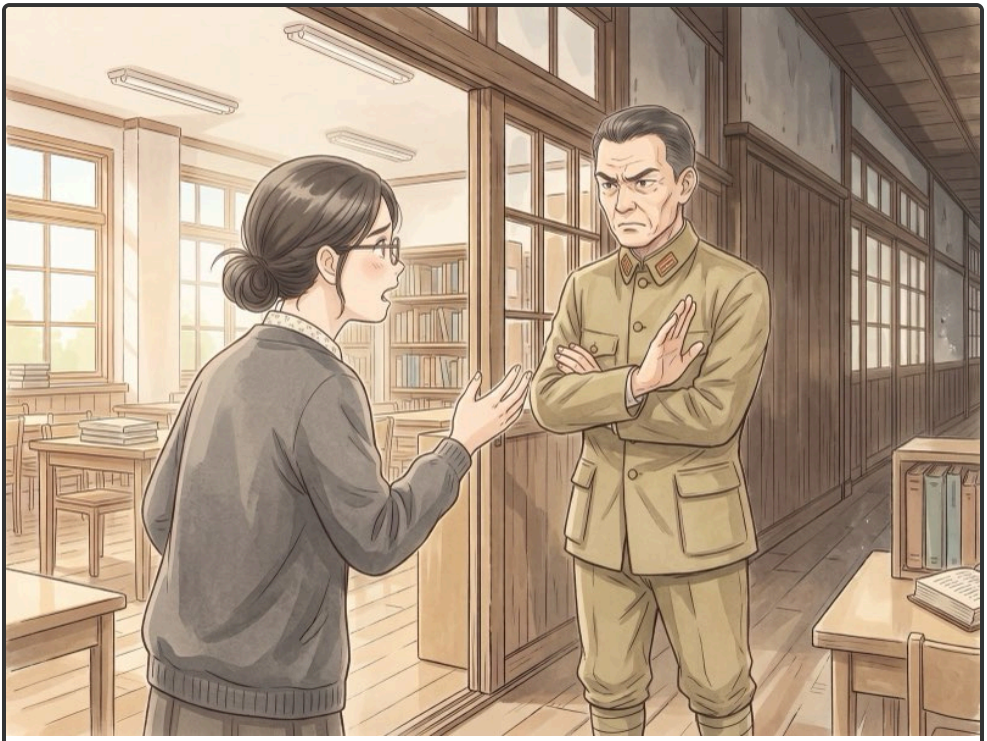
和花
一九四五年の七月十九日。三田空襲のあった日。まだ間に合う！

和花
みんな、よく聞いて！　これから集団下校する間に、米軍のグラマンが二機、空襲に来る。十一時二十分ごろ！

上級生
あほ言わんといて！　日本はアメリカに勝ってるんやろ！　じゃあ僕らがやられる道理はない！

上級生
そ、そうや。先生みんな、日本がもう少しで勝つって言うてる。

先生
こら！　あんたら！　集団下校や言うてるやろ！　なんで規律を守られへんねや！
先生
今にも兵隊さんは、あんたらを守るために戦ってる。申し訳が立たんと思わんのか！
子どもたち
ごめんなさい！



先生
あなたは誰ですか？

和花
職員です。この時代ではまだですが。集団下校を中止してください。

先生
無理です。警戒警報が解除されている今が、子どもたちを帰すのに適している。

和花
ああ！　頭硬いなあ！　もういいです。

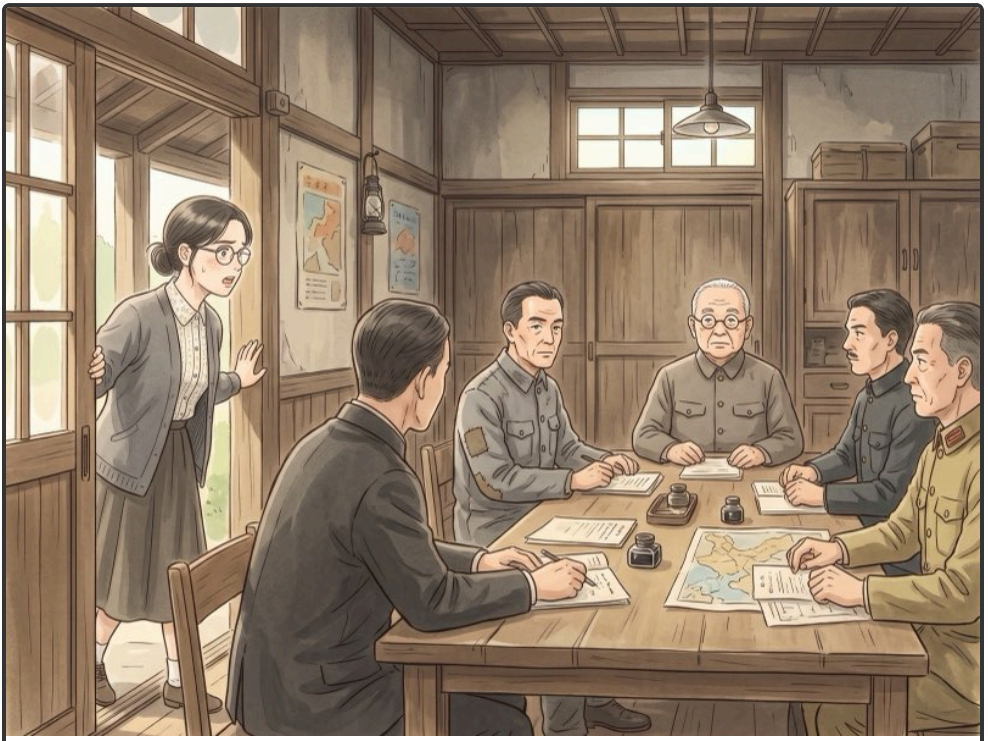
和花
確か、役場が会議中のはず。そちらに訴えます！

先生
あなたみたいな怪しい人を、自由に歩かせるわけないじゃないですか！

第3章

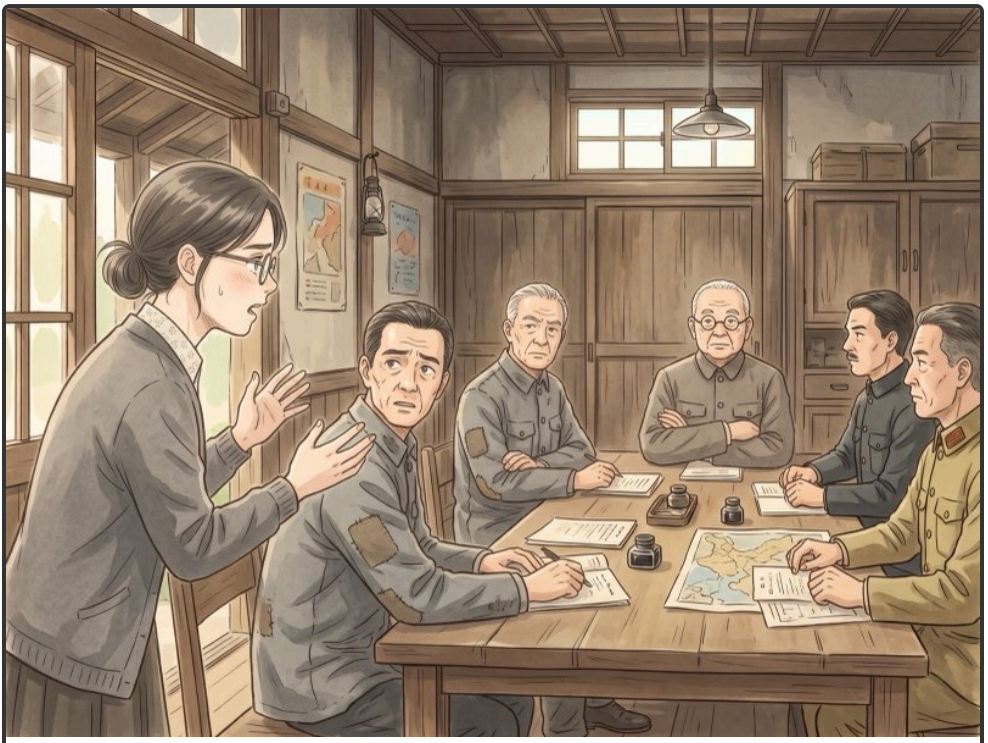
町役場

三田町役場。



和花
失礼します。和花です。

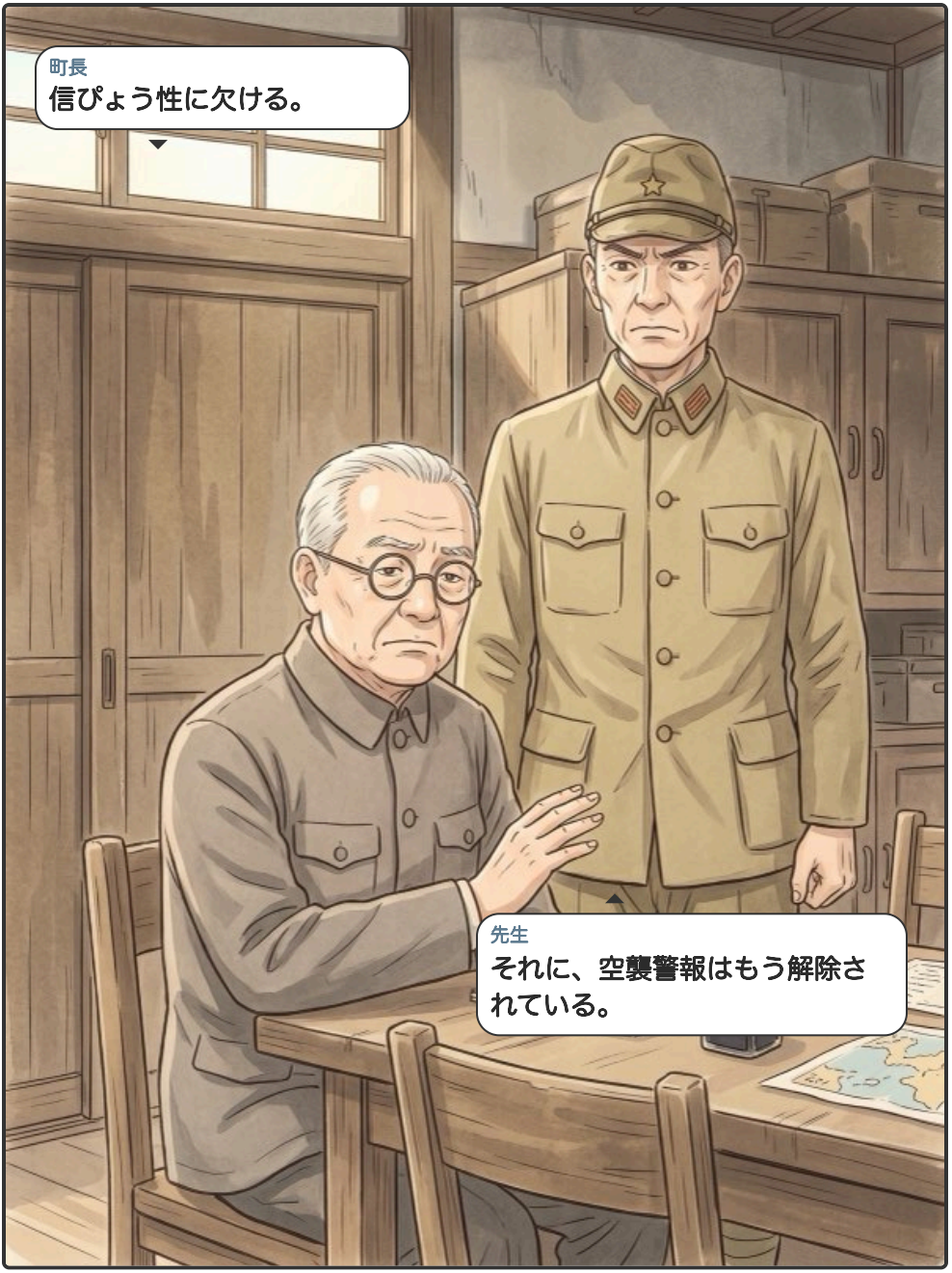
町長
おや、どちらさん？



和花
一九四五年七月十九日に、三田は空襲に遭います。犠牲者は五名。うち、子どもが四名です。

和花
今すぐ、集団下校を中止してください。

中嶋
どう思いますか？

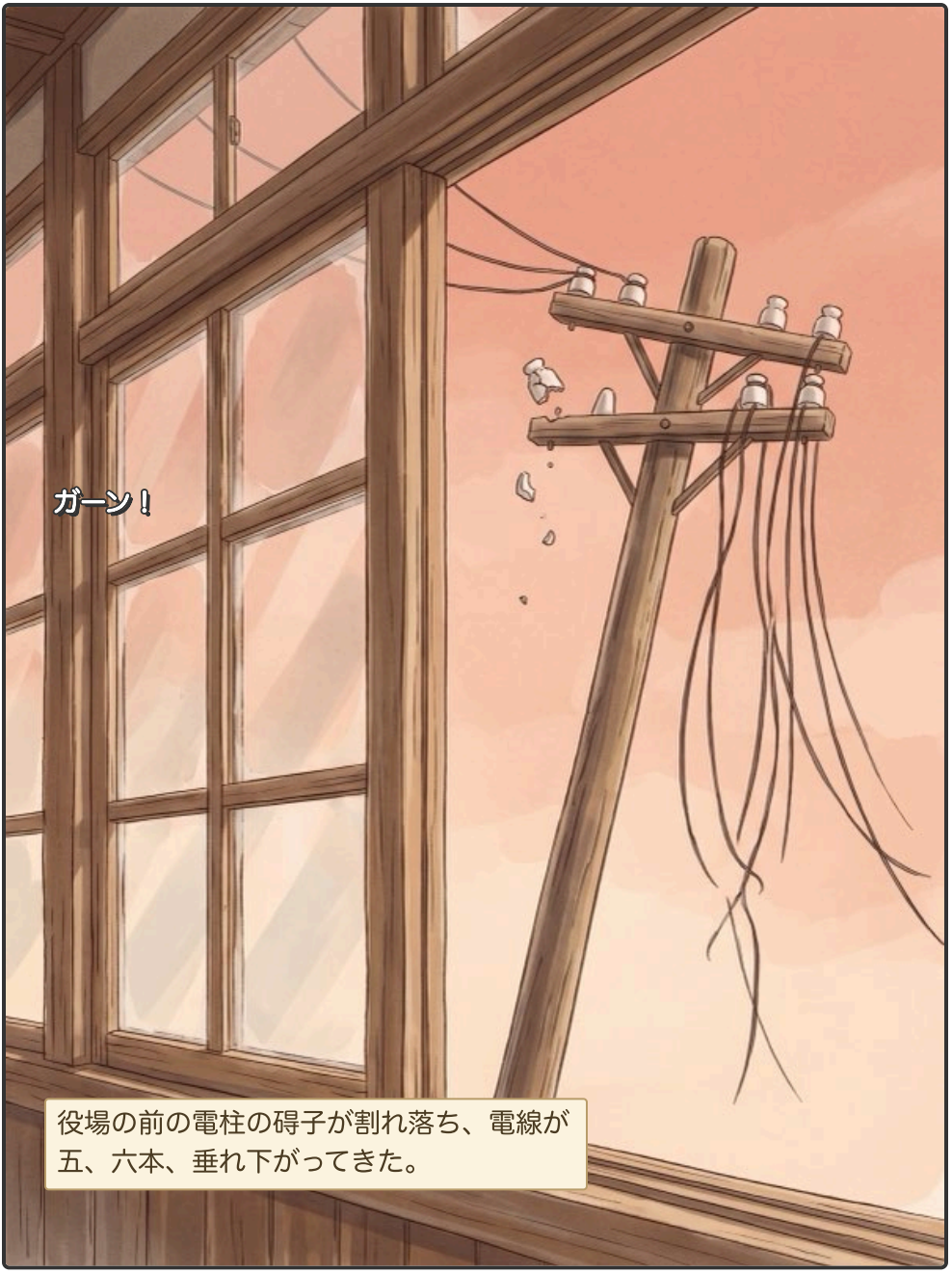

町長
信ぴょう性に欠ける。
先生
それに、空襲警報はもう解除されている。

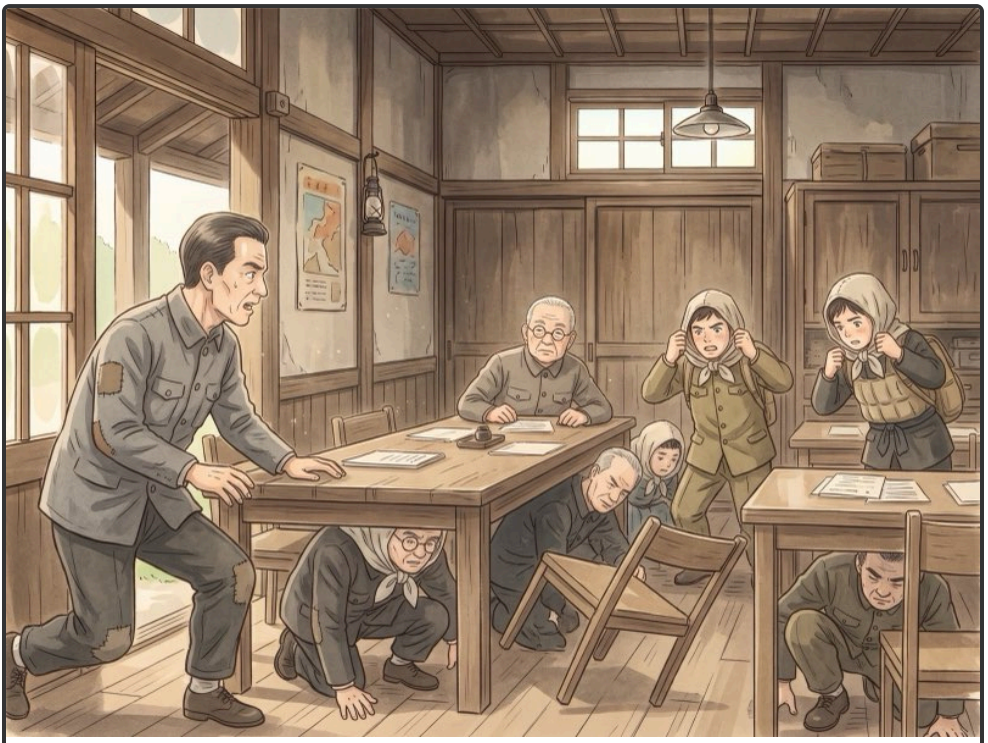
和花
もう時間がありません！　すぐそこまで、グラマンが迫っているんです！
町長
グラマン？　確かラジオではB29と言っていましたが…。

町長
今初めて出会った人の意見を鵜呑みにして、何百人もを動かすほど平和ボケしてません。

和花
それじゃ遅い！

ブゥゥゥン

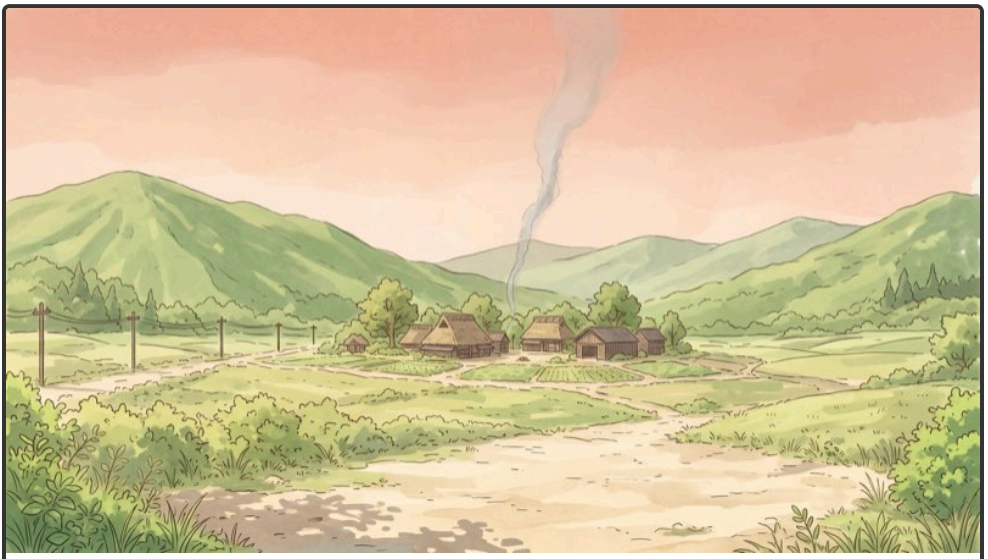

ガーン！
役場の前の電柱の碍子が割れ落ち、電線が五、六本、垂れ下がってきた。



中嶋
そら！　空襲だ！　皆様、お気を付けを！

一同
クワバラ、クワバラ…。

和花
だから言うたんやんか！
空襲警報のサイレン。
中嶋・和花
今更遅い！



中嶋
あれは…火事や！　町長！　高次から火事や！

電話が鳴る。

警察の声（電話）
こちら警察。高次が火事です。消火配置しなさい。

町長
警察から、消火配置せえって。

中嶋
じゃあ僕が行きます！
町長
あかん！　今は空襲警報発令中や。むやみに外に出て、命を無くすわけにはいかん。
和花
子どもたちは…！
中嶋
命は大切にせなあかん。

第4章

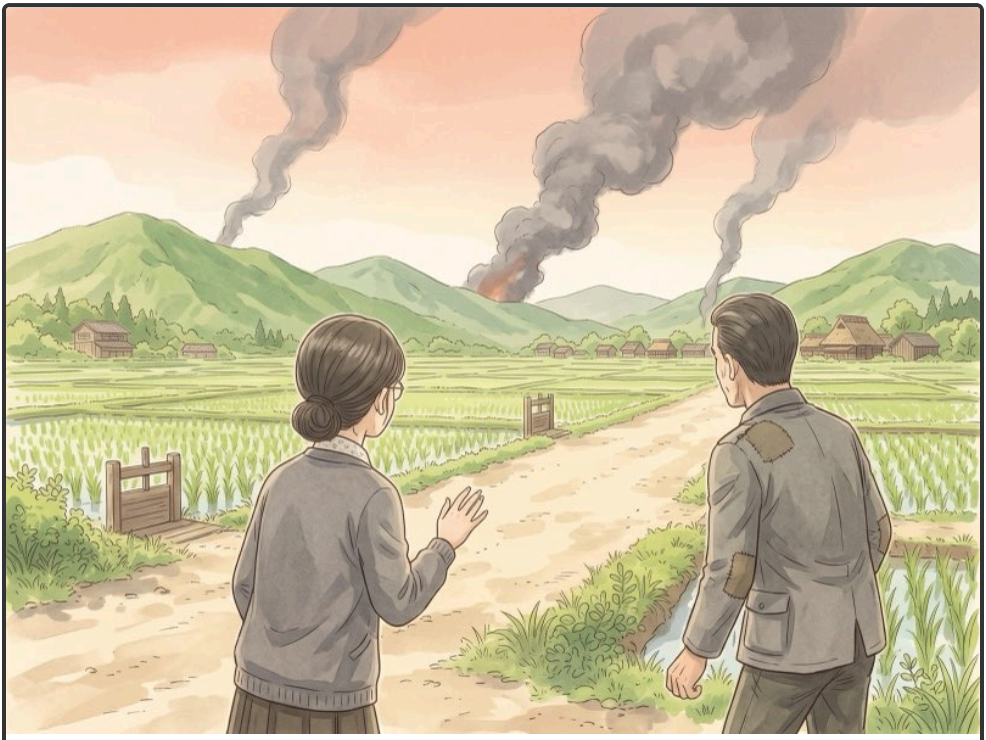
急報

空襲警報解除のサイレン。

町長
中嶋、頼んだぞ！

中嶋
あかん！　危険や。

和花
私も行きます！　子どもたちを助けるんです！



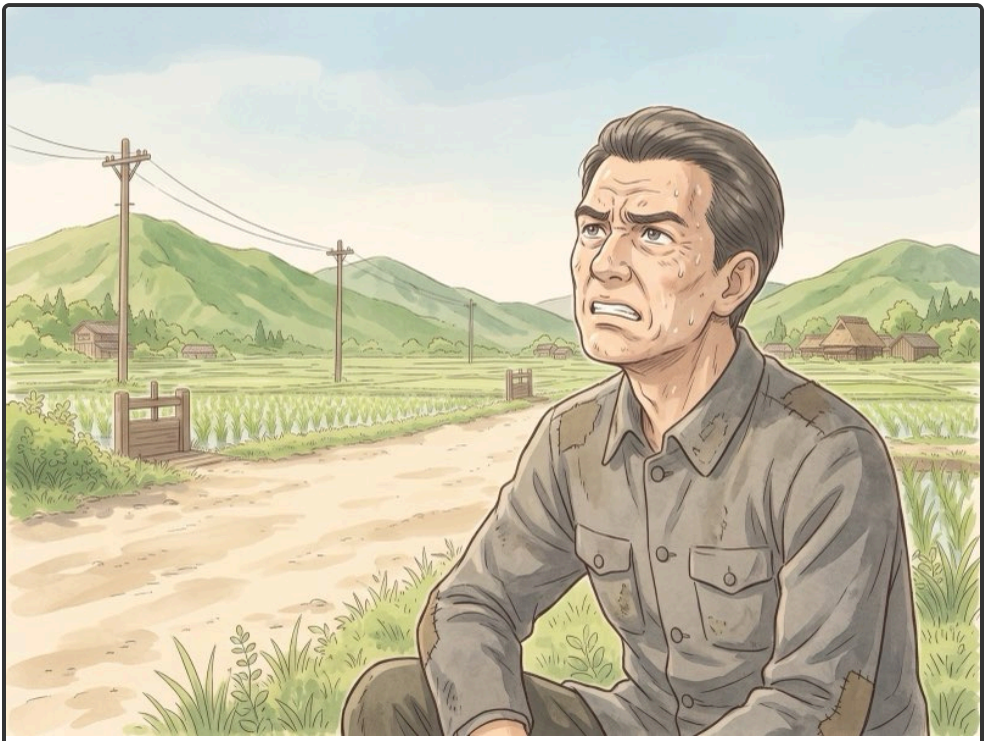
和花
高次の火事、どんどん広がってる！

中嶋
この調子やと、四戸全部燃えてまうぞ。

和花
史実では四戸やった。まだ間に合う！

道の途中で、二人の男の子に出会う。
中嶋
大丈夫か！　しっかりせえ！

和花
しっかり！　返事をしてください！
しかし、二人とも返事をしない。



中嶋
なんて可哀そうな、ひどいことをしやがる。

和花
これじゃ何にも変わってない。

集団下校中に襲われた子どもたちを、近所の人が連れてくる。

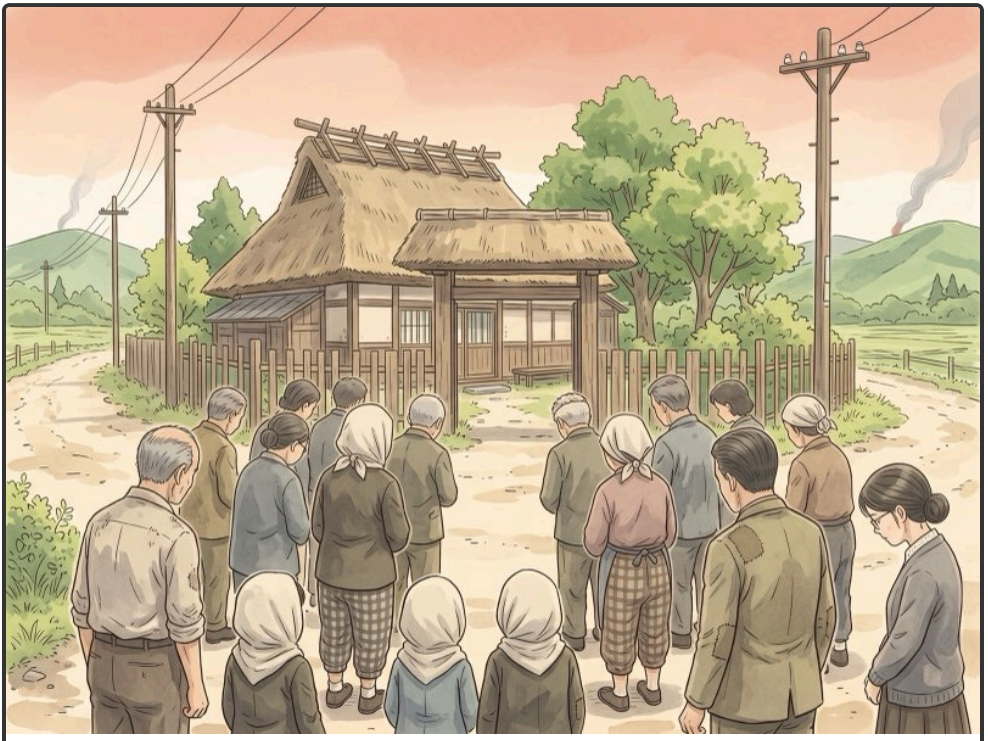
子ども
こわいやんか！　おばさんは怖くないんか？

おばさん
勝手にうちに避難しといてからに。いい加減、自分の家に帰り。お母さんに会いたくないんか？

子ども
会いたい！

おばさん
ほな、さっさと帰り。

子ども
僕な、将来絶対に兵隊になるわ。こんなこと許されへん。僕がやり返す。米軍が憎い。
おばさん
戦争って…。



一軒の家の前に、近所の人が集まっている。

和花
大丈夫ですか！

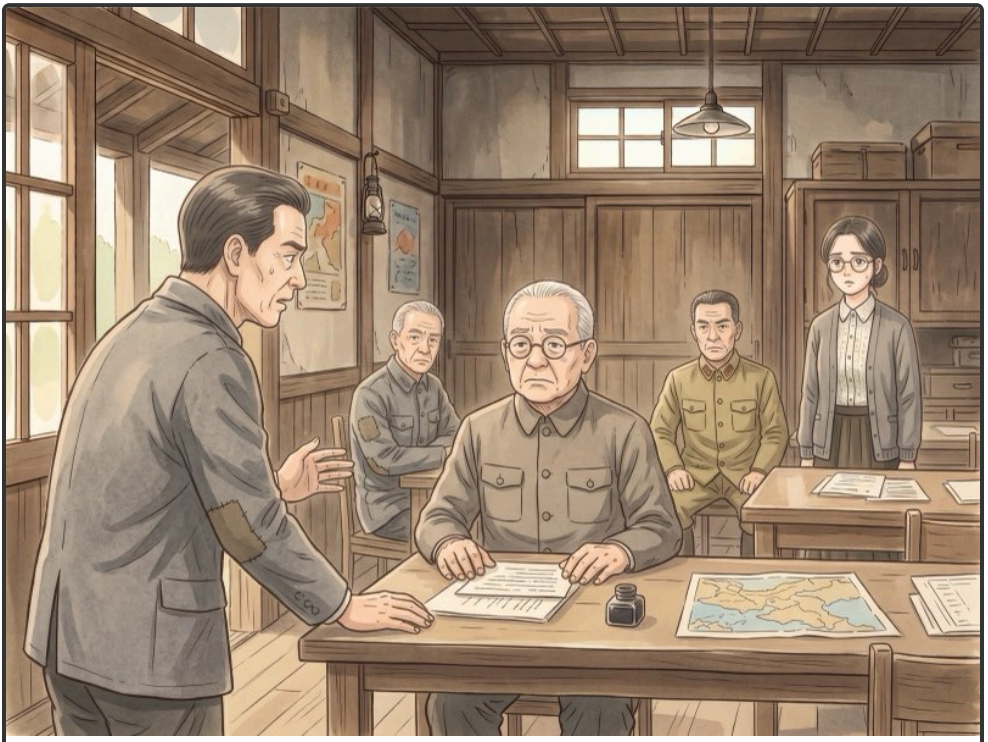
ご主人が、奥さんの編み笠を抱えて、田んぼから上がってくる。
ご主人
残念ですが、しょうがおまへん。

和花
こんなこと…あんまりです。私に出来ることって、何だったんでしょうか？

中嶋
現実や。まだ終わってへん。まだ出来ることはある。

第5章

5つの命



中嶋
まとめますと、高次の十字路付近で男の子が二名、桑原で女性が一名、高次の農家が四戸全焼。

町長
そうか、三人もやられたんか。そして四軒もの家が焼かれた。残念だなあ。

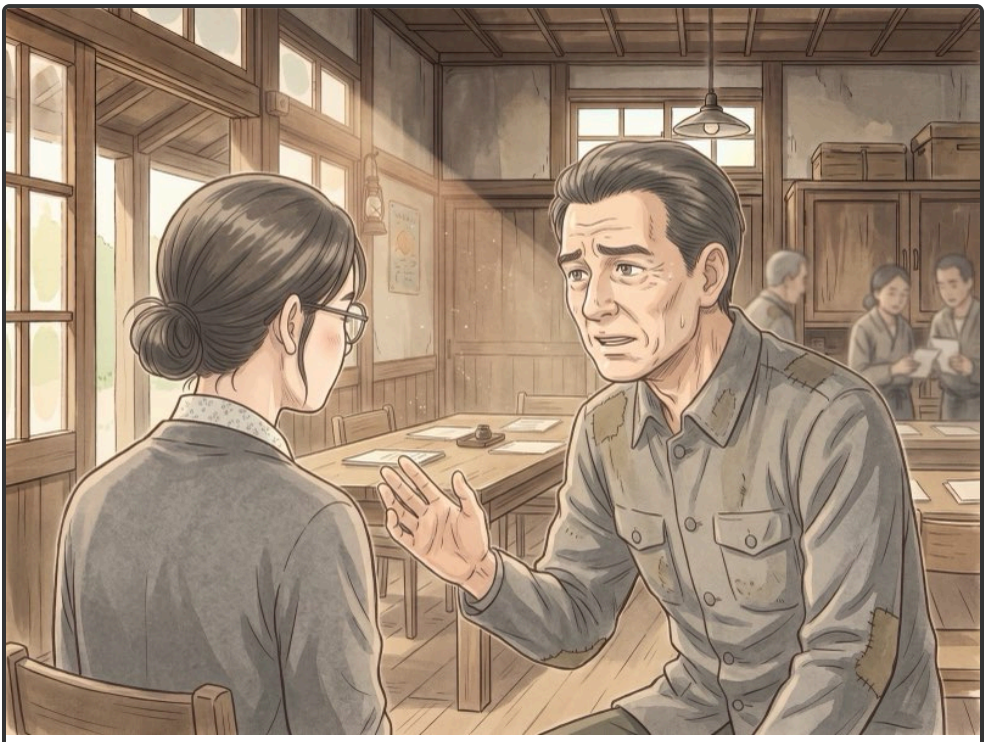
リリリリン
中嶋
救急搬送された女の子が一人…疎開児童の子だったようです。

中嶋
さらに講堂付近で、一人の児童がグラマンの被害にあったそうです。

町長
そうか。これで、五人か。

和花
五人…。変えられへんかった。

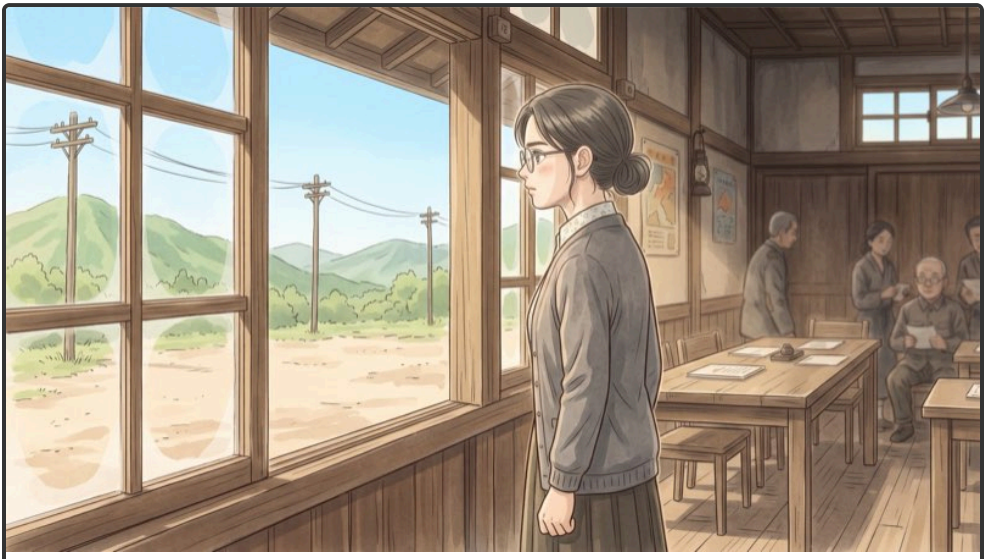
和花は自分を責め続ける。街の人の声が、
次々に聞こえてくる。
声
お水をください。
声
ええい！　なんということをしやがる。
声
気をしっかり保ってください。
声
僕がやり返す。米軍が憎い。



止まらない憎しみ。終わらない戦争。生まれない幸せ。

中嶋
こんなこと、言わせたくないな。こんな感情、抱かせたくないな。

中嶋
もっと明るい未来を見て欲しいな。誰もが笑う、誰も憎まんでいい、そういう未来を作りたい。
中嶋
そのために、今を頑張る。和花、おまえにも、出来ることがあるんとちゃうか？



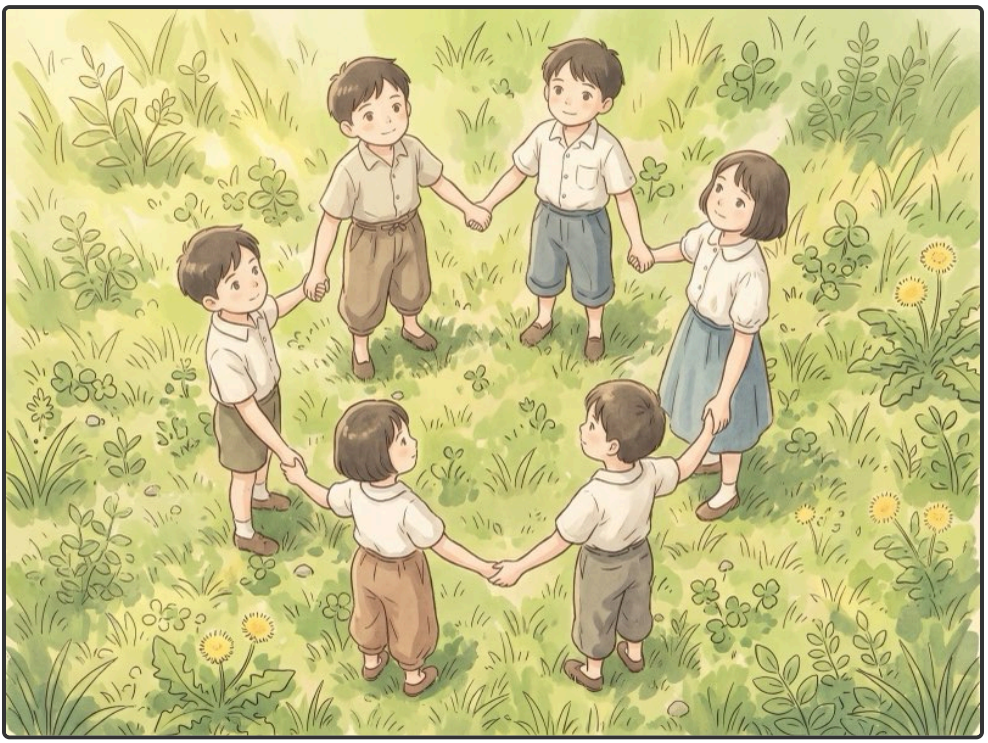
和花
私は、教師です！　私はこの悲惨な空襲を、後世に語り継ぐ。伝え続ける。忘れたらあかん。

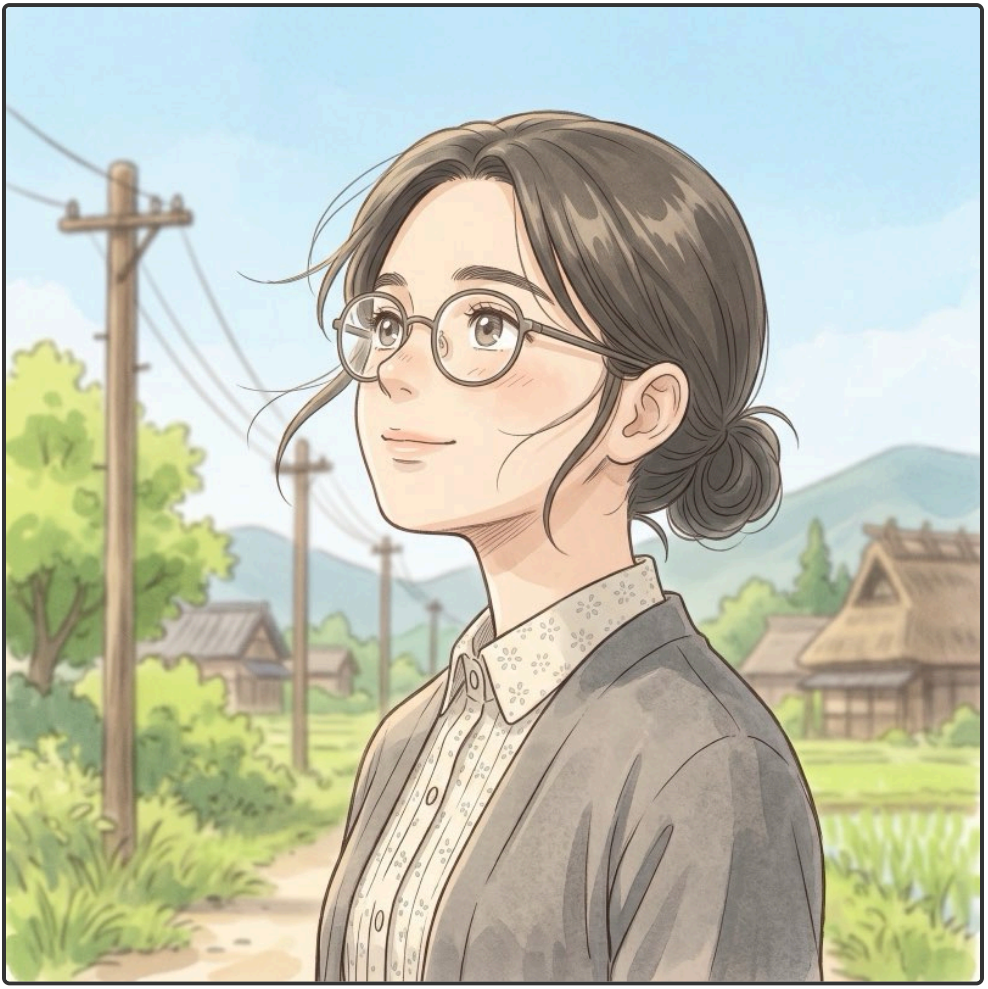
和花
疎開地三田にも空襲はあった。この事実を、悪夢としてではなく、繰り返してはならない歴史として、日本だけじゃなく、世界に知ってもらう。

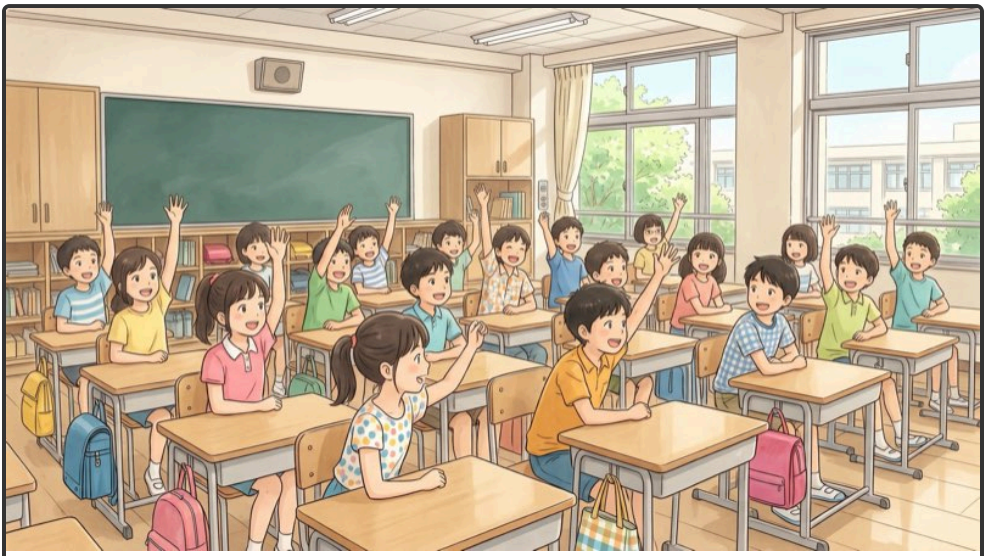
終章

PEACE と教室

♪ 歌「PEACE」（歌の紹介はこちら）







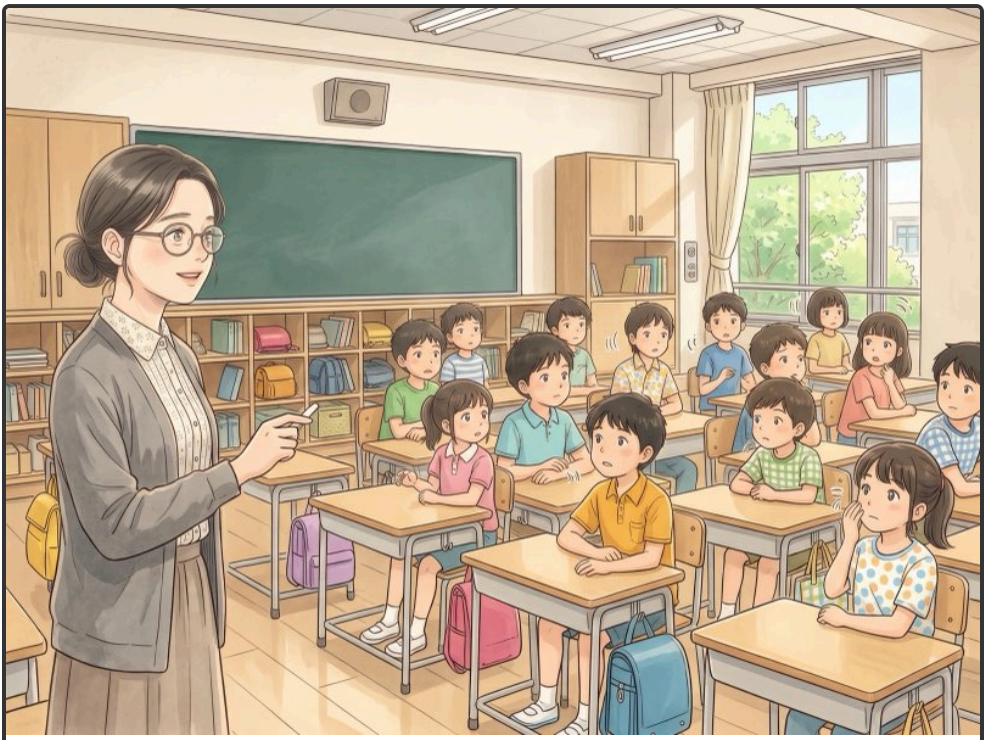
現在。教室。

和花
みんなは、空襲って知ってる？

子どもたち
広島と長崎のやつ！

子どもたち
八月の六日と九日！

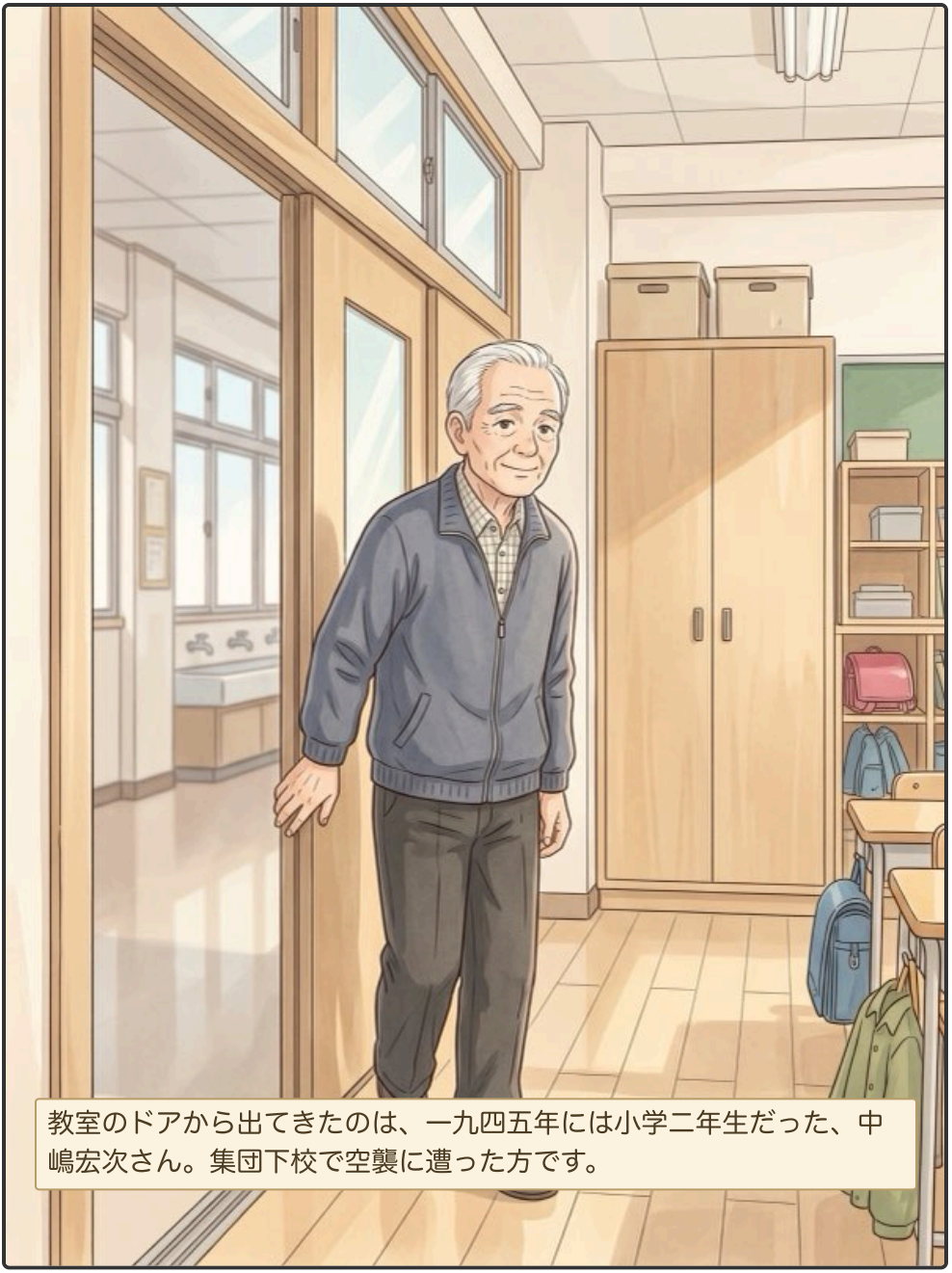
子どもたち
原爆！

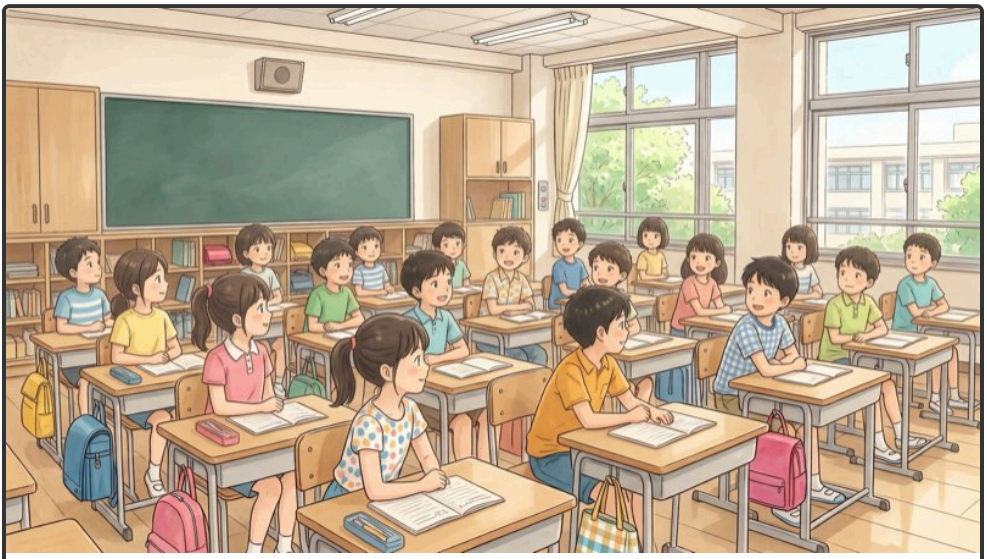


和花
よく知ってるやん！　じゃあ、みんなは、空襲を経験したことってある？

だれも手をあげない。

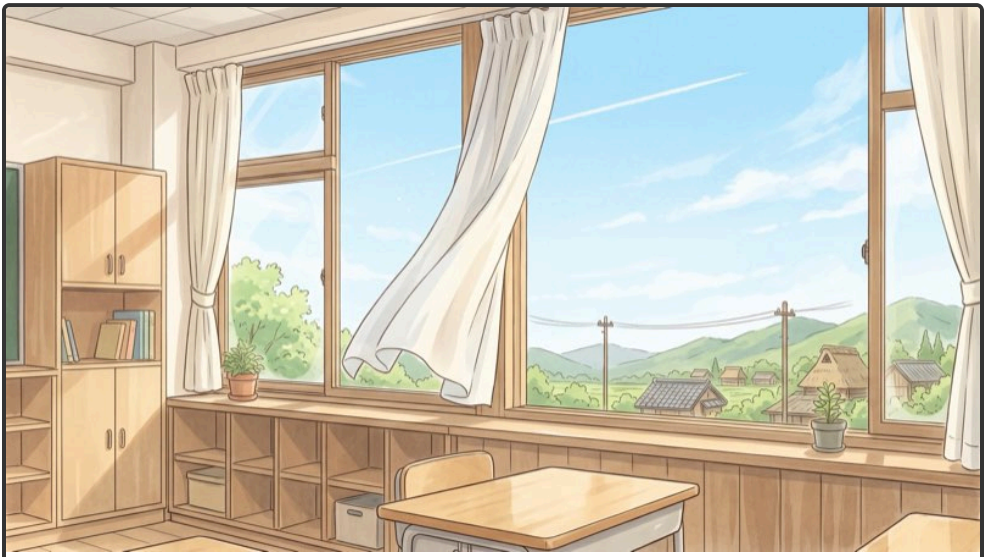
和花
今日は『戦後80年　平和学習』のスペシャルゲストに来てもらってます。どうぞ！


教室のドアから出てきたのは、一九四五年には小学二年生だった、中嶋宏次さん。集団下校で空襲に遭った方です。



中嶋宏次さん

みんなは、ここ三田にも空襲があったことを知っているかな？



— 終 —

忘れない。繰り返さない。

この漫画について

この漫画は、あらや新さん作の劇『三田空襲を忘れない』（台本）をもとにしたフィクションです。登場する和花は、物語のための人物です。

「グラマン」と P-51 について

劇や手記では、三田を襲った飛行機を「グラマン」と呼んでいます。これは、当時の人々が見聞きし、書き残した呼び名です。その後、神戸新聞明石総局の杉山雅崇さんが米軍の記録を調べ、1945年7月19日に三田を襲ったのは、硫黄島から飛来した米陸軍航空軍第506戦闘機連隊の P-51 である可能性が高いと分析しています（2026年4月）。時間帯も、午前9時〜10時ごろではないかとされています。

くわしくは、あらせんブログ（arasen.net）の「三田空襲とは？」「劇『三田空襲を忘れない』とは？」をご覧ください。

三田空襲を忘れない（マンガ版）

原作（台本）　あらや新
漫画制作・発行　SUNPEACE（あらせんブログ arasen.net）
発行日　2026年11月

この本は、ご自由に印刷して、学校や地域で使っていただけます（営利目的の販売は不可）。

1945年7月19日、三田で起きたことを、
台本『三田空襲を忘れない』をもとに
マンガにしました。

忘れない。繰り返さない。

https://arasen.net/sunpeace/

SUNPEACE